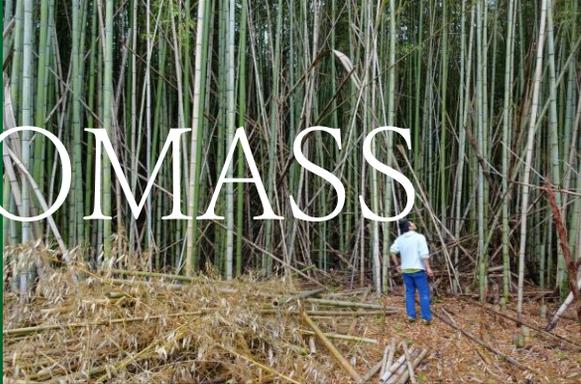


草の根型炭化方式で

バイオ炭をつかってCO₂を削減しよう！

Let's make charcoal and reduce carbon dioxide

BIOMASS



CHARCOAL



Decarbonization



バイオ炭を活用した温室効果ガス削減草の根型モデル

Carbon Minus Project Grassroots Model

地域未利用材の資源化構想

◇ 構想の背景



竹や剪定枝などの地域未利用材

Carbon Minus Project

近年、放置竹林の拡大やそれに伴う生物多様性の喪失、果樹の剪定枝や林地残材など経済活動によって生じるバイオマス資源の不適切な処理など、様々な環境問題が顕在化してきております。

私どもは最終資源化まで至っていないそれら地域未利用材を SDGs 達成のための実践的な資源とみなし、小規模・低コストで非常に簡易な炭やき方式(開放型炭化方式)により炭を作り、それを土壤改良や堆肥化促進などに活用、最終的にカーボンマイナス(CO₂削減)に至る草の根型の取り組みを実践、その活動の環を全国に広めることを目指しております。



炭1kgで約3kgのCO₂を固定化

◇ モデルのイメージ

竹や果樹剪定枝、林地残材などのバイオマス

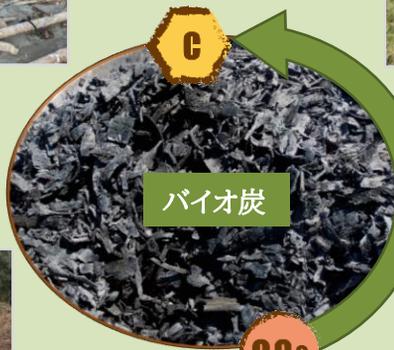


地域未利用材

土壌改良・堆肥化促進・水質浄化・畜産臭気対策など



地域内利活用



CO₂

燃やしても微生物分解されてもCO₂は、ほぼ同量に発生。その発生源の一部を安定的な難分解性炭素(炭)に変換



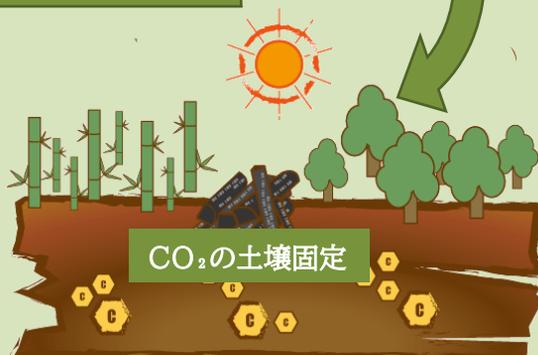
無煙炭化器



草の根型炭化活動

大型炭化器

ブル式炭化平炉



CO₂の土壤固定

低投資&小規模な開放型炭化方式による炭化

燃料として消費しない限り、炭素として半永久的に固定

問い合わせ

NPOフォレストセイバー研究所 総代表 林 哲久

〒210-0844 神奈川県川崎市川崎区渡田新町1-10-11

TEL 090-5496-9137 ✉ wpmxf337@ybb.ne.jp

モデル構築支援

温室効果ガス削減技術推進機構 代表 深澤 義則

〒399-9211 長野県北安曇郡白馬村神城27721-192

TEL 080-9508-0683 ✉ ghg.minus@gmail.com